

はじめに

FLB3678 コードレス スキャナのクレードルは、XX3678 コードレス スキャナの充電器および無線通信インタフェースとして機能します。アイソレータ 3 個でスキャナを取り付けブラケットに取り付けます。その後でブラケットをフォークリフトの表面に取り付けます。

FLB3678 クレードルをご使用の場合、Bluetooth 無線でスキャナからデータを受信し、ケーブル接続によって受信データをホストに送信することができます。クレードルは充電器としても機能し、スキャナをセットするとスキャナの内蔵バッテリー パックが自動的に充電されます。フォークリフトの携帯電源からクレードルに電源を供給します。

このガイドでは、クレードルの設定方法と使用方法について説明します。データ転送に関する記述はすべて、FLB3678 クレードルに限定されます。

注意 LS3578 および DS3578 コードレス スキャナは、FLB3678 クレードルとは互換性がありません。

パッケージ内容

クレードルのパッケージの内容は次のとおりです。

- クレードル
- 取り付けブラケットとアイソレータ
- 8-32 x 1.5 インチ プラス ネジ 3 本 (取り付けブラケットへのクレードル取り付け用)

アクセサリ

次の機器が必要な場合があります。

- 最短サイズ 1.0 インチの 1/4-20 ネジ 3 本 (取り付け面へのブラケット固定用)

梱包箱は、保管や搬送時のために保存しておいてください。破損していないかどうかすべての機器を確認してください。万一、破損や不足がある場合は、直ちに Zebra サポート センターにご連絡ください。

関連文書

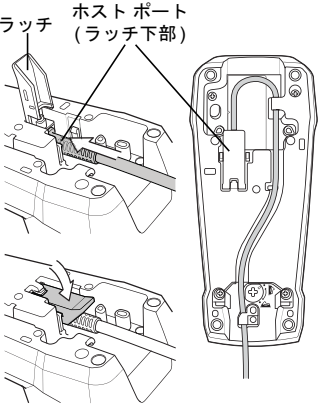
LI 3678 Product Reference Guide (p/n MN001740Axx)
LI3678 Quick Start Guide (p/n MN002323Axx)
DS3678 Product Reference Guide (p/n MN-002689-xx)
DS3678 Quick Start Guide (p/n MN002648Axx)
STB3678 Quick Reference Guide (p/n MN002334Axx)
Forklift Mounting Plate Template (p/n MN-002769-xx)

この文書は、www.zebra.com/support から入手できます。

クレードルの接続

重要 スキャナとクレードルの正しい動作のため、必要に応じて次の手順でインタフェース ケーブルと電源を接続してください。

- 必要に応じて、適切なケーブルを電源ポートおよび AC 電源コンセントに接続します。これにより、ホストの検出が保証され、ホストの不適切な検出によって誤ってクレードルが逆方向に給電されるのを防ぐことができます。
- インタフェース ケーブルをホスト ポートに接続します。
- クレードルのラッチを持ち上げます。ケーブル コネクタ ラッチを (クレードルから) 立てた状態で、インタフェース ケーブルをクレードルのポートに差し込みます。クレードルのラッチを閉じて、ケーブルを固定します。
- 必要に応じて、ホストケーブルをケーブル フックの下から溝に沿って配線します、
- スキャナをクレードルに装着するか (装着時のベアリングが有効な場合)、ベアリング バーコードをスキャンすることによって、スキャナをクレードルとベアリングします。
- インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャンします。詳細については、『Product Reference Guide』を参照してください。



ホスト インタフェースの変更

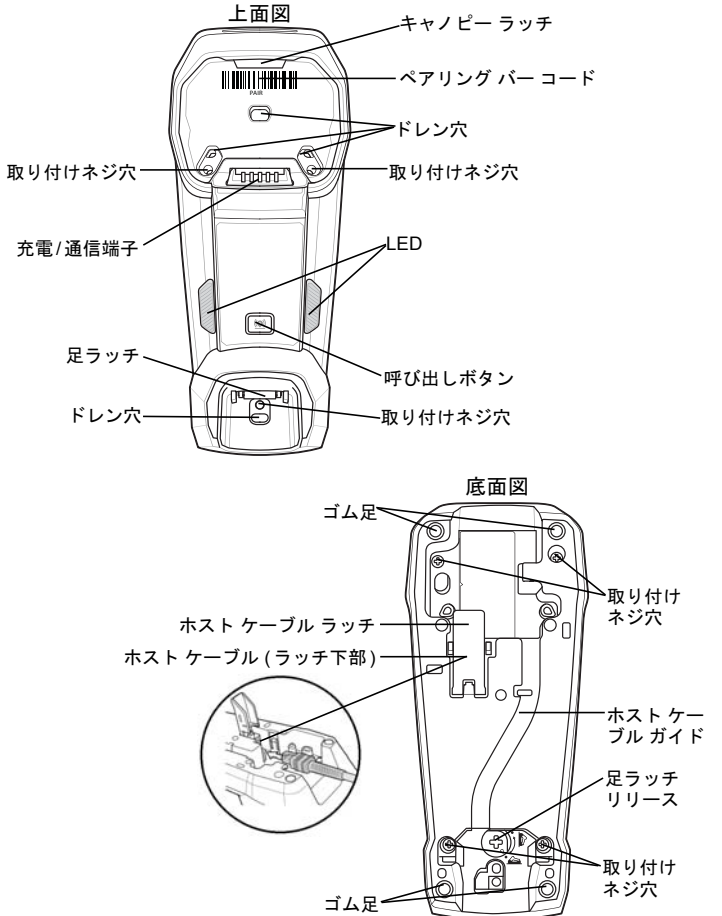
- 接続先を変更する場合や、使用するケーブルを変更する場合は、次の手順に従ってください。
- ホストからインタフェース ケーブルを取り外します。
 - クレードルから電源ケーブルを取り外します。
 - インタフェース ケーブルを新しいホストに接続します (接続先を変更する場合)。または、新しいインタフェース ケーブルを既存のホストに接続します (ケーブルを変更する場合)。
 - 必要に応じて、電源ケーブルを再接続します。
 - インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャンします。詳細については、『Product Reference Guide』を参照してください。

ホスト インタフェースを使用した電力の供給

ホストによっては、外部電源ではなくホスト インタフェースを介してクレードルに電力を供給できる場合があります。

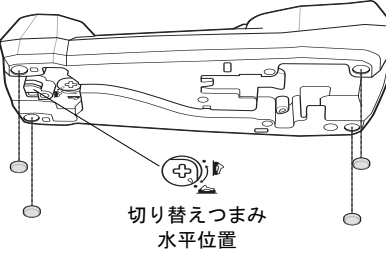
注意 ホスト エンドへのケーブルを取り外す前に必ず DC 電源を取り外してください。そうでないと、クレードルが新しいホストを認識できない場合があります。

クレードル各部の名称



クレードルの取り付け

- 卓上での使用
- 取付場所切り替えつまみ (卓上/壁面) が、右記のように正しい位置に設定されていることを確認します。
 - クレードルを卓上で使用し、固定する必要がない場合は、クレードルのパッケージに入っているゴム足の裏側から保護用の紙をはがし、クレードルのプラスチックにあるくぼみにゴム足を取り付けます。これによりクレードルが安定し、設置面に傷が付くのを防ぐことができます。



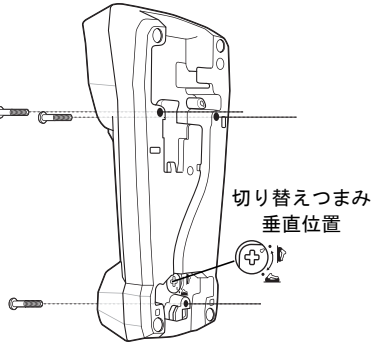
壁面への取り付け

注 壁面に取り付ける場合は、ゴム足を使用しないでください。

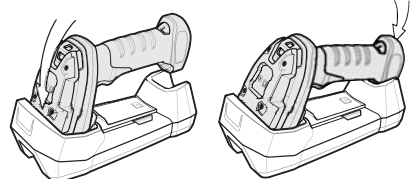
- クレードルを壁面に取り付けるには、次の手順に従ってください。
- プラス ドライバーを使用して、切り替えつまみ (卓上/壁面) を下記の位置に切り替えます。正面のラッチが突起します。このラッチにハンドル底部のくぼみがはまり、スキャナが固定されます。
 - インタフェース ケーブルと電源ケーブルを取り付けます (『クレードルの接続』を参照)。
 - ケーブル溝に沿ってケーブルを配線します。
 - 設置面にクレードルを配置します。このガイドに記載されている壁面取り付けテンプレートをを使用することもできます。
 - クレードルの底部にある 3 つの穴で取り付け面に印を付けておきます。または取り付けテンプレートをを使用して、ネジ穴位置の印を決めます。
 - 1.5 インチの #8 プラス ネジを留める 3 カ所に軽く穴を開けておきます。
 - 設置面にクレードルをしっかりと取り付けます。
 - スキャナをクレードルに設置します。
- クレードルにスキャナを装着する**

注意 クレードルに液体をこぼしたり、吹きかけたりしないでください。

クレードルにスキャナを装着するには、次の手順に従います。



- まずスキャナ上部をはめ込みます。クレードルとスキャナの端子を合わせて、カチッと音がするまでハンドルを押し込みます。



ホスト コンピュータへのデータの送信

クレードルは無線通信によってスキャナからデータを受信して、それをホストケーブルによってホスト コンピュータに転送します。無線通信を確立するには、スキャナとクレードルのベアリングを実行する必要があります。

ベアリング

注 スキャナをクレードルに接続するベアリング バーコードは、各クレードルにより異なります。ベアリングが完了するまで、データやパラメータをスキャンしないでください。

ベアリングを実行してクレードルにスキャナを登録すると、そのスキャナとクレードルの間でデータ交換が可能になります。FLB3678 の動作モードには、シングルポイント モードとマルチポイント モードの 2 つがあります。シングルポイント モードでは、スキャナをクレードルに装着するか (装着時のベアリングが有効な場合)、ベアリング バーコードをスキャンすることによって、スキャナをクレードルとベアリングします。マルチポイント モードでは、1 台のクレードルと最大 7 台のスキャナをベアリングできます。

スキャナをクレードルとベアリングするには、ベアリング バーコードをスキャンします。ベアリングとリモート機器への接続が完了すると、高音 - 低音 - 高音 - 低音に続いて低音 - 高音という順番でビーブ音が鳴ります。ベアリングが正しく完了しなかった場合は、長い低音 - 長い高音の順番でビーブ音が鳴ります。

ホストへの接続の切断

- スキャンしたデータがクレードルの接続先ホストに正しく転送されない場合は、すべてのケーブルがしっかりと接続されていることと、電源が正常に動作している AC コンセントに接続されていること (該当する場合) を確認します。それでもスキャンしたデータがホストに転送されない場合は、ホストへの接続を再確立してください。
- クレードルから電源ケーブルを取り外します。
 - クレードルからホスト インタフェース ケーブルを取り外します。
 - 3 秒間待機します。
 - ホスト インタフェース ケーブルをクレードルに接続し直します。
 - 必要に応じて、電源ケーブルをクレードルに接続し直します。
 - ベアリングのバーコードをスキャンし、クレードルとのベアリングを確立し直します。

クレードルでのスキャナ バッテリーの充電

スキャナで新しいバッテリーを使用する場合は、最初にバッテリーを充電する必要があります。バッテリーをスキャナに取り付け、スキャナを FLB3678 クレードルに装着します (『クレードルにスキャナを装着する』を参照)。バッテリーの充電が開始されると、スキャナの LED インジケータが黄色で点滅します。バッテリーの充電が完了すると、クレードルの LED が緑色で点灯します。完全に放電したバッテリーをフル充電するには、外部電源を使用する場合で最大 3 時間、USB インタフェース ケーブルを使用する場合で最大 10 時間かかります。

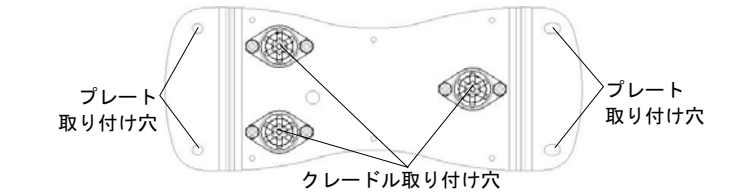
LED	意味
緑色	電源オン
緑色の点滅	Bluetooth 接続が確立されました
青色	呼び出しボタン
バッテリーの表示	
黄色	充電が必要
黄色の点滅	充電中
黄色ですばやく点滅	充電エラー
緑色	バッテリー充電完了

トラブルシューティング

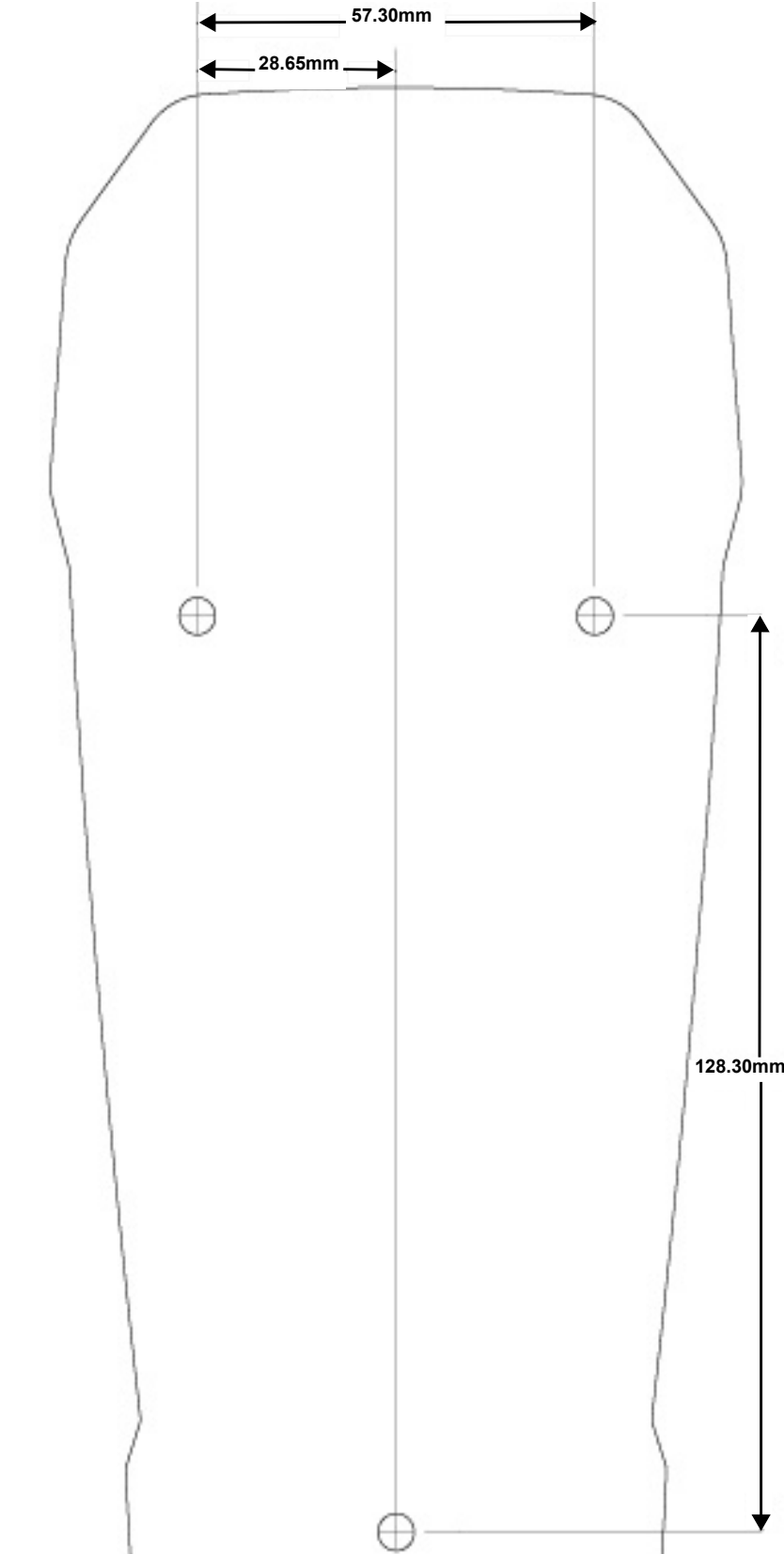
- 本ガイドの手順に従ってもクレードルが正常に動作しない場合は、次の項目を確認してください。
- システムの電源を確認してください。
 - ケーブルの接続が緩んでいないかどうかを確認してください。
 - スキャナがクレードルにしっかりとセットされているかどうかを確認してください。
 - ホストが正しく設定されていることと、クレードルがホストの適切なポートに接続されているかどうかを確認してください。

フォークリフト取り付けプレート

フォークリフト取り付けプレート (p/n BRKT-MM0036W-00) は、フォークリフトトラックへの設置において振動がスキャナとクレードルに与える長期の損害を減らすために必要です。詳細については、『Forklift Mounting Plate Template』(p/n MN-002769-xx) を参照してください。



壁面取り付けテンプレート



注 壁面取り付けテンプレートが含まれる FLB3678 QRG を印刷する場合は、正しい寸法で印刷されるように、必ず [Page Sizing and Handling] (ページサイジングおよび処理) を [Actual Size] (実際のサイズ) に設定してください。